

令和4年度第二次補正予算(案) こども関連予算のポイント

◆第二次補正予算(案) こども関連予算総額 3,772億円

内閣官房	13億円
内閣府	1,459億円
厚生労働省	2,128億円
文部科学省	164億円
デジタル庁	8億円

こどもの視点に立った司令塔機能の発揮、こども基本法の着実な施行

- こどもの意見聴取と政策への反映 0.5億円
【内閣官房】
▶こども・若者意見反映推進のための調査研究

全てのこどもに、健やかで安全・安心に成長できる環境を提供する

- 総合的な子育て支援 1,909億円
【内閣府】
▶子どものための教育・保育給付等
▶放課後児童クラブ等のICT化の推進
▶地域子ども・子育て支援事業における感染症拡大防止対策に係る支援

【厚生労働省】
▶保育の受け皿整備・保育人材の確保等

【文部科学省】
▶認定こども園施設整備

- こどもの居場所づくり支援 58億円
【内閣府・厚生労働省】
▶放課後児童クラブの受け皿整備・放課後子供教室との連携推進

【内閣官房】※予算は、厚生労働省計上
▶NPO等と連携したこどもの居場所づくり支援モデル事業の実施

【内閣府】
▶「こども食堂」など食事等の提供を行うNPO等に対する支援

- こどもの安全・安心 262億円
【内閣府・厚生労働省・文部科学省】
▶「こどもの安心・安全対策支援パッケージ」の推進

【厚生労働省】
▶児童福祉施設等の災害復旧への支援

結婚・妊娠・出産・子育てに夢や希望を感じられる社会の実現、少子化の克服

- 地域の実情や課題に応じた少子化対策 90億円
【内閣府】
▶地域少子化対策重点推進交付金
- 妊娠期から子育て期の包括的な切れ目のない支援 1,374億円
【厚生労働省】
▶妊婦・低年齢児の親への伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施
▶母子保健情報デジタル化実証事業の実施
▶産後ケア事業の整備の推進
▶新型コロナウイルス流行下における妊婦等への支援 等

成育環境にかかわらず誰一人取り残すことなく健やかな成長を保障する

- 児童虐待防止対策・社会的養育の迅速かつ強力な推進 45億円
【厚生労働省】
▶児童相談所等でのタブレット端末等の活用促進、AIを活用した緊急性の判断に資する全国統一のツールの開発促進による児童虐待防止対策の推進
▶児童養護施設退所者等への貸付事業を拡充し、疾病等により医療機関を受診する場合の生活費の貸付金額の増額による自立支援の充実 等
▶児童福祉施設等の耐災害性強化
- ひとり親家庭等への支援 30億円
【厚生労働省】
▶困窮するひとり親家庭等や要支援世帯のこども等を対象としたこども食堂など、こどもの居場所や食への支援の実施
▶ひとり親家庭等の支援に関するワンストップ相談支援体制の構築、高等職業訓練促進給付金を活用して資格取得を目指す者への貸付による支援の充実 等
- 潜在的に支援が必要なこどもをアウトリーチ支援につなげるためのこどもデータ連携の推進 12億円
【内閣官房】※予算は、内閣府計上
▶潜在的に支援が必要なこどもをアウトリーチ支援につなげるための情報・データ連携に係る実証事業

(注) こどものための教育・保育給付等には事業主拠出金財源(275.6億円)を含む。「こどもの安心・安全対策支援パッケージ」の推進には文部科学省分(77.7億円)を含む。